

## 普段が大切

第一回学級専門班会は一年生が見学に来て、いつもと違う状況で緊張したと思いますが、先輩として後輩に「学級専門班会とはこういうものだ。」と示せたり、「先輩たちはすごい。」と感じさせたりすることができたと思います。

このことは、普段の取組である班活動や「見て・判断して・行動する」ことを大切にしてきたからこそ、いつもと違う状況でも力が発揮できたのだと思います。

普段の授業や全校・学年朝会時の挨拶ができていなければ、入学式や卒業式などの儀式的行事等でしっかりと挨拶ができるはずがありません。

普段の授業に対する取組がよくなければ、研究公開等の多くの方々から見られる授業でうまく取り組めるはずがありません。

普段の練習をいい加減にやって、大会や試合でいい結果を残せるはずがありません。

普段の一步ずつの取組を積み重ねた結果が、大きな成果につながったり、自分自身の成長につながったりするものです。

これからも、普段の取組を大切にしていきましょう。



## ルール

5/24(金)の学年放送では不要物の持ち込みがあったことを伝え、ルールを守ることへの喚起をしました。

その後、ルールは守られていますか。

「この位いいかな。」「誰も見ていない、ばれないし。」「誰にも迷惑をかけていないし。」などと、安易にルールを破っている人はいませんか。

ルールは何のためにあるのでしょうか。

ルールは集団生活を快適に、楽しく送る上で欠かせないものの一つです。

スポーツにおいて、各種競技にルールがあります。競技にルールがなかったら、それぞれが好き放題やって競技にならなかったり、喧嘩などの争いごとが生まれたりすると思います。

好き放題やっていたものが、「これでは楽しめない。」ということが分かり、「楽しくするためにはどうしたらいいだろうか。」と知恵を出し合い、試行錯誤しながらルールのある競技ができたのではないのでしょうか。

学校のルールも同様。今までの先輩たちが「皆が学校生活を楽しいと感じるためにはどうしたらいいだろうか。」と知恵を出し合い、試行錯誤しながらつくりあげてきたのが今のルールです。皆さんは、先輩たちがつくりあげたルールの最先端にいます。そして、「皆が学校生活を楽しいと感じるためにはどうしたらいいだろうか。」と、自分たちのため、後輩たちのために知恵を出し合い、試行錯誤しながらルールをつくりあげていく立場でもあります。

